

作成日：2025 年 8 月 25 日

株式会社小松製作所 従業員の皆様へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、通常の産業保健活動で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる皆さんお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の健康情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

研究課題名：ストレスチェック項目を用いた精神疾患による休業リスク予測モデルの構築と実務応用

研究期間：研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2028 年 9 月

研究機関：産業医科大学

研究責任者：産業生態科学研究所産業保健経営学 准教授 永田智久

研究の目的と意義

本研究は、ストレスチェックの質問票を用いて、メンタルヘルス疾患による休業リスクを定量的に予測するモデルを開発することです。このモデルを用いることにより、ストレスチェックの結果に基づき休業リスクを評価することが可能となり、早期発見および予防のための介入をおこなうことが可能となります。

研究の方法

ストレスチェックの質問票と疾病休業データ（2020～2024 年）等を突合させます。そのうえで、2020～2023 年の疾病休業データを用いて、1 か月以上の疾病休業を予測するモデルを構築し、2024 年のデータでそのモデルの検証を行います。

個人情報の取り扱い

本研究では、ストレスチェックの回答データと疾病休業データを突合させたうえで、氏名等の直接的に個人を特定できる情報は速やかに削除し、匿名処理したデータを用いて解析を行います。また、研究の実施に際して、個人情報を含むデータを社外（例：産業医科大学などの共同研究機関）へ提供・共有することはありません。研究成果の公表に際しても、個人が特定されることは一切ありません。

問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申してください。また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年10月31日までに下記の連絡先までお申出ください。（2025年11月1日以降は、データ分析を開始していますので、データの削除が難しくなります。）その場合でも対象の方に不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問合せがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。

連絡先：

株式会社小松製作所 本社健康増進センタ 湘南健康管理室

室長 井上俊介

shunsuke_inoue@global.komatsu

その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。本研究は、産業医科大学産業保健経営学研究室の研究費により行います。産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。